

'03.5

毎月1回20日発行 定価 1部60円
発行所 兵庫県商工会連合会
発行人 会長 土谷正男
神戸市中央区花隈町6の19
☎神戸(371)1261(代)〒650-0013
http://www.shokoren.or.jp/
編集人 澤田 功
印刷所 大和出版印刷株式会社
会員の購読料は会費に含んでおります

第 549 号

兵庫県 商工連会報

(題字は井戸知事)

Hyogo Prefectural Federation of Societies of Commerce and Industry



兵庫 ものづくり

『ゴルフクラブ』

日本で始めてゴルフ場が生まれたのは、明治三十四年に神戸ゴルフ倶楽部がオープンしたのが最初。ゴルフ人口も最近では少なくなってきたが、播州地方はゴルフクラブ製作において、日本でも有数の地となっている。福崎町でクラブを製作する(株)さくらゴルフ器具製作所は、パタークラブの生産で日本一を誇り、トッププロにも同社パターの使い手が多い。打った感触は人によって様々で、パターの選択に苦悩する人も多い。好みを数値化できないことから、トップメーカーとして絶えることない工夫が続いている。製品がグリーンで活躍する時、メーカーの実力の証となる。

提供 福崎町商工会

主な行事予定

6月のこよみ

- 4日(水) 応用研修会(和田山ユビターホール)
- 9日(月) 第3回商工会政策研究会(県商工会館)
- 12日(木) 同友会役員会(県商工会館)
- 13日(金) 県青連理事会等(県商工会館)
- 19日(木) 応用研修会(姫路市民会館)
- 20日(金) 正副会長・常任理事会(県商工会館)
- 24日(月) 県女性連理事会等(県商工会館)
- 26~27日(水・木) 新任職員研修会(篠山市・新たんば荘)

平成14年度臨時総会

新年度事業計画など決定



「 - 地域経済に活力！ 示せ機動力・創造力・実行力 - 」をスローガンに7重点項目を採択（六甲荘＝神戸市）

県商工会連合会は、三月二十日、六甲荘（神戸市）で平成十四年度臨時総会を開催。出席者は六十九名（うち委任状提出者二十三名）。



懸賞論文表彰式

当日、懸賞論文表彰式が行われ、優秀作の圓増正宏氏（篠山市篠山）ら十名に表彰状並びに副賞が土谷会長から手渡された。その後、県産業労働部商工労働局の辻井博局長から、新年度の県経済雇用対策の説明を交えた来賓挨拶があった。

また、議案審議に先立ち、人事管理委員会や商工会職員退職金問題小委員会、商工会合併等問題研究会、保証業務運営委員会の委員長らからそれぞれ審議事項について報告があった。

当日、懸賞論文表彰式が行われ、優秀作の圓増正宏氏（篠山市篠山）ら十名に表彰状並びに副賞が土谷会長から手渡された。その後、県産業労働部商工労働局の辻井博局長から、新年度の県経済雇用対策の説明を交えた来賓挨拶があった。

また、議案審議に先立ち、人事管理委員会や商工会職員退職金問題小委員会、商工会合併等問題研究会、保証業務運営委員会の委員長らからそれぞれ審議事項について報告があった。

第一号議案 規約（人事管理委員会規約）の一部改正
第二号議案 平成十四年度収支更正予算設定
第三号議案 平成十五年度事業計画並びに収支予算設定
第四号議案 平成十五年度借入金最高限度額の決定
第五号議案 欠員に伴う役員補充選任

「地域経済に活力！ 示せ機動力・創造力・実行力」をスローガンとした七つの重点項目が採択され、中でも、「商工会政策研究会」や「構造改革研究会（仮称）」を通して積極的な政策提案を行っていくことを決めた。

さらに、商工会の広域連携や合併に向けての取り組みに効果



商工安全共済契約の調印式

大阪・兵庫・徳島 三府県連が交流会

大阪府・兵庫県・徳島県の三府県連が交流会を開催した。交流会は、三府県から三十二名が参加し、交流会を開催した。（本県からは七名）

この交流会は、明石海峡大橋の架橋により、地理的、経済的関係が深くなったことから、三府県青年部においても連携を深めようとするもので、今回で六回目を迎える。

当日、各府県連の活動報告と各府県における青年部活動事例の発表を行うとともに、徳島県からは「青年よ大志を抱け支援事業・五拾萬円部門」の事業報告があった。

大阪府・兵庫県・徳島県の三府県連が交流会を開催した。交流会は、三府県から三十二名が参加し、交流会を開催した。（本県からは七名）

6月は「外国人労働者問題啓発月間」です。

外国人労働者の適正な雇用・労働条件の確保と不法就労の防止にご理解とご協力をお願いします。また、年1回6月1日現在の外国人労働者の雇用状況をご報告いただく「外国人雇用状況報告制度」へのご協力もお願いします。

お問い合わせは、ハローワーク神戸（神戸公共職業安定所）まで。

〒650-0025

神戸市中央区相生町1丁目3-1

TEL 078-362-4570

FAX 078-362-4582

合併後のあり方など探求

第三回商工会合併等問題研究会

県商工会連合会は、三月二十四日、県商工会館で『第三回商工会合併等問題研究会』を開催した。

最初に瓦田委員長（神戸商科大学教授）より挨拶の後、次の内容について協議した。

商工会合併等問題研究会の報告目次

商工会合併に向けての基本方針

合併後の商工会のあり方の協議では、この研究会で協議した結果を報告書として取り纏める際の項目を目次（案）として、「商工会合併に向けての基本方針」、「合併後の商工会のあり方」などを提案し、冒頭に「商工会を取り巻く経済環境の

変化」の項目を新たに追加することになった。

この研究結果を構造改革研究会、理事会等で審議し、最終的に県に支援を要望することとした。

の協議では、新市町の行政サービスの代行による収益事業

など、合併を契機とした「商工会としての新たな機能の付加」

を合併の目的に追加することになった。

の協議では、「合併後、商工会がまず取り組むべき課題」と、「合併商工会の将来的なビジョン」とに分け、再度、具体的な方針を明示することとなった。

以上の議論に加え、報告書（案）についての詳細な加筆修正、各地区に必要な支援策を各委員から事務局に提出し、次回の研究会までに資料を整えることとなった。

情報推進 専門部会の設置を決定

県商工会連合会は、三月十八日、県商工会館で、第三回商工会情報化推進委員会を開催し、



次期商工会標準版システムへの対応策も協議する

労働保険事務システム等の今後への対応を協議した。

当日の協議事項は、労働保険事務システムについて、次期商工会標準版システムについて、平成十五年度商工会情報化対策事業について。

労働保険事務システムについては、昨年度の法改正に伴うプログラム修正は行わず、市販の労働保険事務システムへの移行により対応することとした。次期商工会標準版システムについては、その導入経費等の問題もあり、同委員会に専門部会を設置して検討することとなった。

また、平成十五年度商工会情報化対策事業については、重点事項を定め、計画的に事業推進を図るべきとした。

その他、報告事項として、商工会情報化推進委員の委嘱

IT移動研修事業実績報告
次期システムの構成及び導入スケジュール 経営指導支援システムへのアクセス状況が提出された。

ブロードバンドの普及促進へ

情報化推進研究会

県商工会連合会は、三月二十五日、神戸市産業振興財団で、商工会情報化推進研究会を開催した。

この研究会は、商工会地域におけるブロードバンドの普及促進と、情報化の推進を図るもの。

当日は、次期記帳機械化システム（ASP版）を、（株）富士通ビジネスシステムの担当者がデモンストレーションし、新システムの概要を始め、セキュリティへの対応などについての説明を行った。



活発な意見交換も行われた研究会

次いで、関西ブロードバンド（株）代表取締役社長の三須久氏を講師に「ブロードバンドが拓く商工会地域の将来」をテーマとした講演会を実施した。同氏は、「情報化推進において、ブロードバンド環境の整備は重要課題となっている」と強調、「現在の地域間格差を積極的に解消していかなければならない」とした。

また、県連合会の平成十五年度商工会情報化対策、クライアントサーバーシステム導入スケジュール等についての説明も交えた意見交換も行い、研修会を終了した。

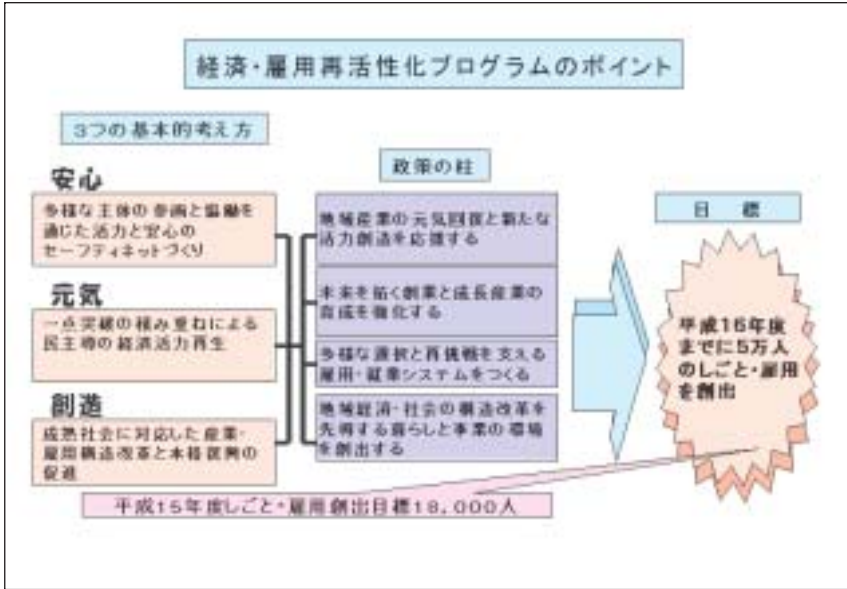
兵庫県商工連協同組合

理事長 土谷正男

神戸市中央区花隈町6-19 電話078(371)1261(代)

平成15年度 産業労働部重要施策要旨

<文責・編集者>



企業倒産が高水準で推移する一方で有効求人倍率が低水準にとどまるなど、本県の経済・雇用に巡る情勢は厳しい状態が続いている。この背景には、金融不安やデフレ不況等とともに、震災の影響、サービス経済化の遅れなど複合的な要因があり、緊急的な取り組みとともに産業構造改革の推進が求められている。

これに対応するため、県では

平成十三年十二月に、「安心」、平成十六年度までの三年間で五万人のしごと・雇用を創出することを目指して、「ひょうご経済・雇用再活性化プログラム」を策定した。また、平成十四年十二月には、有識者等によるフォローアップや国の「改革加速プログラム」を踏まえ、内容の充実を図った。プログラムの中間年である平成十五年度は、緊急雇用創出事業や中小企業融資制度等を通じ県民生活の安定を支えながら、地域産業の活性化や先端技術の創出、また、ミスマッチの解消や働き方の多様性を広げる雇用・就業環境の形成等幅広い取り組みを展開し、本県経済・雇用の本格的な再生を推進する。

1. 地域産業の元気回復と新たな活力の創造

(1) ものづくり産業の新展開
長引く景気低迷や海外製品との競合など、地場産業をはじめ中小製造業は様々な課題に直面しており、元気回復には創造的な挑戦が求められる。

(2) 地域コミュニティの核となる商店街づくり
消費構造の変化や業態間競争の激化に加え、個人消費の低迷等により厳しい状況にある商店街・小売市場は、地域コミュニティの中核機能を併有しており、その再生はまちづくりの観点からも重要な課題である。

(3) 体験と交流のツーリズム創造
ツーリズム関連産業は多様な業種や職種を含んでおり、地域の雇用における比重も大きいものがある。このため、「ひょうご花味歩キャンペーン」などの誘客事業やインターネットによる情報発信を、(社)ひょうごツーリズム協会と連携して実施する。

また、中小企業の技術課題に対応するため、県民局等に配置している技術相談員を五名から十名に拡充し相談・助言をきめ細かく実施するとともに、工業技術センター保有特許の活用による製品化・事業化への支援に取り組む。

さらに、「ひょうご商談会」の開催や取引マッチングシステムの運用等により、中小製造業の下請取引のあっせんを促進する。

による新規開業支援や、「大型空き店舗活用対策事業」による商業施設への出店事業者補助、高度化資金等による商業施設等の整備助成等を引き続き実施する。

ほか、「ひよっこ武蔵バス」の運行などNHK大河ドラマ「MUSASHI武蔵」の放映を契機とした誘客促進に取り組む。

また、体験・交流型ツーリズムへの志向が高まるなかで、都市と農村の交流など県内観光団体等による広域的な取り組みを支援するとともに、温泉を活用した地域の魅力づくりや、県内の産業集積を活かしたツーリズム資源の開拓を推進する。

(4) 新分野進出・第二創業の促進

兵庫経済の再生には、地域の活性化と雇用拡大の原動力である中小企業の元氣回復が不可欠である。このため、(財)ひよっこ中小企業活性化センターに、高度な専門的知識や多様な人脈を有し、目利き能力に優れた「総括コーディネーター」を配置して個別企業の課題に取り組むとともに、県内の支援関連機関が連携して課題解決に当たるなど、中小企業支援体制を充実する。

また、「先進的中小企業新分野進出支援事業」により新製品・新サービス開発等に必要経費を補助するほか、「新事業活性化貸付」を創設しステップ

海外からの誘客については、

東アジアを主なターゲットに国際旅行見本市への出展、旅行エージェント等の招聘及び外国語版パンフレットの作成等、現地PRや来県ツアーの企画促進を図る。特に、友好提携二十周年を迎えた広東省は、近年著しい伸びを示している中国からの訪日客の六割以上を占めているため、重点的に事業を推進する。

アップを目指す中小企業を支援する。

中小企業金融については、厳しさが続く経済情勢を踏まえ「特別経営資金貸付」の限度額の引き上げとその取扱期間の延長や「小規模無担保貸付」の限度額の引き上げを実施するほか、既存債務の借換を支援する「資金繰り支援貸付融資」や金融機関の再編等に伴う借入減少に対応する融資などを通じ、資金調達の円滑化を支援する。

一方、産業情報化については、情報通信技術を活用した経営革新を支援するため、中小企業経営者・管理者等を対象とするITセミナーや、事業所における「情報化リーダー養成事業」、企業グループが行う情報機器及

び情報システムの導入を支援する「IT化ビジネスプラン支援事業」等を実施する。

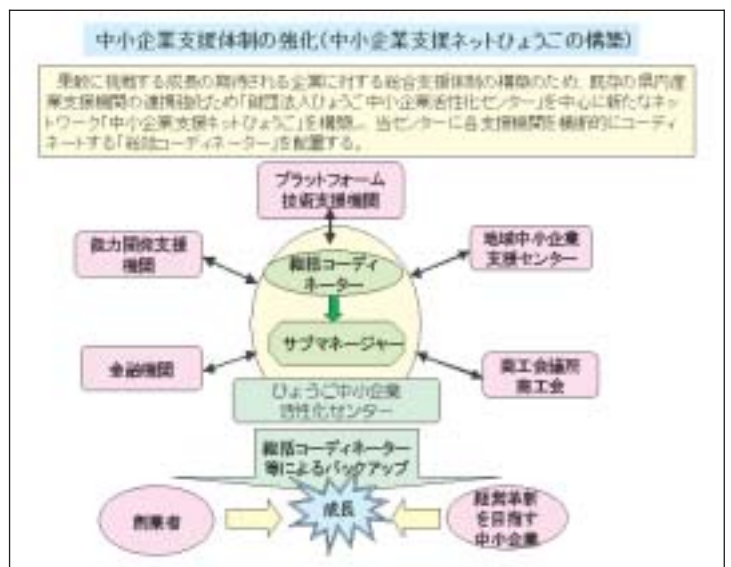
産業復興については、厳しい経済状態が長期化するなかで被災地域の再活性化に向けた取り組みを、県はもとより(財)阪神・淡路産業復興推進機構等と連携を図りながら推進する。

2. 未来を拓く創業と成長産業の創出

(1) 創業・ベンチャービジネスのインキュベーション環境整備

経済・雇用再活性化を着実に推進していくためには、本県の活発な企業風土を活かし多様な起業家を発掘・育成しながら、二十一世紀の産業をリードするベンチャーの創業を促進していく必要がある。

このため、ベンチャー企業と投資家等とのマッチングを図るベンチャーマーケット事業や学



生起業家への支援などを実施するとともに、資金面では「新産業創造プログラム」や「新産業創造キャピタル」に加え、「新産業創造キャピタル投資先貸付」の創設や独立開業貸付の拡充等を行う。

また、社会の高齢化、成熟化が進むなかで成長が見込まれる新規サービス産業の創出を促進するため「生活産業創出支援事業」を実施し、ビジネスプラン作成の助成等を行う。

(2) 21世紀を先導するフロントティア産業の創出

産業構造改革の総合的推進と構造改革特区構想の実現と規模での地域間競争が激化するなかで、雇用の拡大と兵庫経済の活性化を着実に進めるには、成長産業分野を中心に資本と頭脳の集積を進めるなど、産業振興施策を戦略的・重点的に展開する必要がある。このため、「ひよっこ経済・雇用再活性化プログラム」の充実を引き続き図りながら、積極的な産業・雇用政策の展開を図る。

また、構造改革特区については、地域や民間の創意工夫を活かした規制改革を通じて地域経済の活性化を図る「構造改革特区区域法」の昨年十二月の制定を受け、四月から自治体の申請に対する国の認定が始まり、本格的なスタートが切られることから、特区ごとの推進体制を整えたうえで一層の規制改革及び税財政支援の実施を国に働きかけるなど、構想実現を推進する。

産業・科学技術の総合的推進
産業振興の基盤となる科学技術の振興を総合的に推進するため、第二期兵庫県科学技術会議を中心に「知の創造と活用」及

び「科学技術人材育成」について調査審議を行う。

また、県内の卓越した研究機関の集積を活かし、産業への波及性のある独創的なシーズの創出につなげるため、「兵庫県版COEプログラム」を創設し、産学官等のコンソーシアムを対象に立ち上がり期の調査研究を支援するとともに、新産業創造プログラムなど既存事業の活用により、ライフサイエンス、ナノテク、ITなど兵庫の未来を拓く新産業創出を加速する「ひょうご21世紀産業創造イニシアティブ」を推進する。

大型放射光施設（Spring-8）については、産業界での活用を促進するため放射光研究プロジェクトに支援するとともに、研究成果に関する講習会を開催する。また、産業利用の

(3) 国内外企業の立地促進と国際交流の推進

産業集積地区の戦略的形成、経済のグローバル化が進展し、生産拠点等の海外進出に加え主要機能の首都圏移転という二重の空洞化が進展するなかで、成長性の高い産業を導入することは兵庫経済再生にとって重要な

ニーズに因應するため兵庫県ピームラインの実験ハッチを増設するとともに、新たなピームラインの設置について検討を行う。

さらに、産学官連携による新たな産業の事業化を促進するため設置した「兵庫県産学官連携イノベーションセンター」を積極的に運営するとともに、(財)

新産業創造研究機構の「TLOひょうご」や「技術移転センター」を核とした技術移転の促進等を支援するほか、「国際フロンティア産業メッセ2003」を平成十五年十一月に神戸国際展示場で開催する。

環境創造型産業の育成・集積促進
環境創造型産業については、関連産業の集積等本県の優位な特性を活かし、ビジネスコンソーシアムによる先導的なプロ

課題である。

このため、産業集積条例に基づき設定した「新産業構造拠点地区」、「国際経済拠点地区」及び「産業集積促進地区」に加え新たに「構造改革特別地区」を設定するとともに、不動産取得税の不均一課税や雇用創出型産業集積補助金など優遇措置を拡

ジェクトの事業計画策定等を助成する「循環型社会先導プロジェクト推進事業」を実施するとともに、「環境・リサイクル特区構想」の推進に向け「環境創造型産業クラスター形成促進事業」を実施し、集積モデルの調査研究等を行う。

情報産業の育成

「兵庫情報ハイウェイ」の民間企業の活用を促進するとともに、地域産業と情報関連産業等の出会いの場を設ける「ITブリッジ事業」やIT関連ベンチャー企業等に情報通信基盤が整備されたオフィススペースを低廉に提供する「ITクリエイティブブリッジ事業」を実施する。

また、情報産業の人材育成を図るため、学生クリエイターの発掘・育成等を推進する。

充し、企業誘致を一層推進する。

また、外国・外資系企業の誘致については、PRビデオ・CD等誘致ツールの充実を図るとともに、兵庫でのビジネス取引や進出に関心のある北米企業及び欧州企業の発掘等を行う「海外企業ビジネスチャンス発掘事業」や、世界的な産業集積の形



ワシントン州との間で、経済ミッシヨンの派遣をはじめ多彩な記念事業を推進するとともに、戦後移住五十周年を迎えるブラジルとの交流を推進する。あわせて、「北東アジア地域自治体連合」参画自治体等を対象とした防災対策研修の実施など、全国各地との課題解決型の交流を推進する。

また、淡路夢舞台国際会議場等への国際会議誘致や「ひょうご国際プラザ」の運営等により、国際性豊かな地

域づくりや県民の国際交流活動の促進を図る。

府・企業を対象にPRセミナーを開催する「兵庫県広東企業投資特進事業」等を実施する。

課題解決型国際交流の推進・国際交流基盤の整備

国際交流の推進等については、姉妹提携四十周年を迎える米

3. 多様な選択と再挑戦を支える雇用・就業システムの整備

(1) 雇用ミスマッチ解消と創造性豊かな人材の育成
雇用ミスマッチの解消と創造性豊かな人材の育成に資するため、職業能力開発関係機関が相互に連携しながら、産業界が求

める具体的な人材ニーズを幅広く把握し就職に結びつける人材育成の一貫したシステムとして、「兵庫しごとカレッジシステム運営事業」を関係機関と連携して推進し、実践的な能力開発プログラムを求職者に提供する。

また、求職者の早期再就職を支援するため、民間職業能力開発施設とも連携しながら「求職者スキルアップ事業」を実施し、ICT関連訓練をはじめ多様なプログラムを提供する。

さらに、学卒未就職者が増加

技術・技能尊重の気運醸成

(2) 地域ニーズに対応した雇

用・就業の促進

多様な就業形態の創出

ライフスタイルの多様化に伴い、県民一人ひとりがその適性や価値観に応じた就業形態を選択し、能力を最大限に発揮できる魅力ある就業環境の整備が求められている。

このため、在宅ワーカー等への支援を行うほか、地域に根ざした「地域共生ビジネス」の創出支援、生きがいしごとサポートセンターの活動範囲の被災地以外への拡充など、県民の多様な働き方の創造を支援する。

さらに、多様な働き方の創出とともに雇用の維持にも資する

する一方で若年者失業率が高止

まっている状況等を踏まえ、企業経営者等を講師に迎えて「大学生等実社会講座開催事業」を開講し、大学生等の職業意識を醸成するほか、就職希望の高校生を対象にキャリアアカウンセリング等を行う「高校生就職支援総合プログラム」や、派遣労働を活用して若年失業者の職業能力向上を支援する「若年者キャリア形成プログラム事業」等を実施する。

ワークシェアリングについて、労使それぞれの立場から選定・検討したうえで県内の幅広い企業等が活用できるモデルの開発を行う。

高齢者、障害者の雇用・就業の推進・男女共同参画社会の実現

成熟社会に向かうなかで、年齢や性別、障害等に関わらず、すべての県民が仕事を通じた自己実現を図ることができる社会づくりが求められている。

このため、シルバー人材センター事業等を引き続き推進するとともに、障害者の雇用・就業支援について、研修の拡充などジョブコーチの養成等を推進す

技術・技能が尊重され、その維持・継承と発展への環境づくりを進めるため、創意工夫や発明、熟練技能等に対する顕彰や「技能グランプリ&フェスタ」等を開催するほか、優れた技能を有する「ひょうごの匠」を県内の中学校や指導を希望する企業等に派遣することにより、青少年が技能の素晴らしさを学ぶ機会を提供するとともに、高度熟練技能を求めめる企業等に優れた技能を伝承していく。

るほか、障害者就業・生活支援センターにおける「障害者自立支援ホットライン」の設置等、ワンストップでの相談・情報提供体制を整備する。

(3) 県民生活の安心を確保する

セーフティネットの充実

求職者の就職活動を支援するため、Hogoshigoto情報広場等において、壮中年失業者等を対象にワンストップで再就職情報を提供するとともに、実践的な就職活動プログラムの提供を行う。

また、求人側と求職側が情報を対面方式でやりとりする「ひょうご人材マーケット」を

また、男女共同参画社会づくりを推進するため、地域で育児や介護を相互に援助する「ファミリーサポートセンター」の設置を拡充するほか、「長期離職者のための再就職支援事業」については新たに起業準備セミナーを開催する。

良好な労働環境とゆとりある勤労者生活の創出

各県民局等において関係機関と密接に連携しながら、勤労者に対する総合的な労働相談を行うなど、良好な労働環境の確保・増進に努める。

また、成熟社会に向かうなかで、地域貢献活動や余暇活動などを通じた自己実現やゆとりある勤労生活を希求する県民ニーズが一層高まっていることなど

から、働きがいとゆとりを感じることができると環境づくりを推進する。

CSR施設等の整備・運営
大型望遠鏡の製作等、「西はりま天文台公園」の拡充整備事業を引き続き進めるとともに、県下五地区で推進している「自然活用型野外CSR事業」のうち、「ゆめさきの森公園（仮称）」の十五年度開園に向け整備を進めるほか、「エコキャンパス・しそつの森」の設計及び整備に着手する。

また、CSR活動への県民の主体的で多様な参画を促進するため、地域の活動リーダーによる「ひょうごCSRクラブ」事業を支援する。

支援する教育資金の拡充等を行う。

開催するほか、個々の労働者の適性・能力に合わせたキャリアカウンセリングを、関係機関と連携しながら地域労働相談・しごと情報広場等において引き続き実施する。

さらに、「失業者支援資金融資」及び「離職者生活安定資金融資」を引き続き実施するとともに、失業者の再就職に向けたスキルアップのための再就職支援資金の創設や、子弟の就学を

緊急雇用創出事業については、不良債権処理の加速する過程における影響に対応するため、事業を充実するとともに、売上等が減少している中小企業への事業委託を通じ、雇用安定にも配慮する。



創立40周年
地域への大感謝祭
〈御津町〉



舞台上では海賊バンド演奏やキャラクターショーが繰り上げられる

御津町商工会（中谷正会長）は、創立四十周年を迎え、三月二十一日、同町文化センターで、会員・町民への大感謝祭を盛大に挙行した。

今回は、地域への四十年の感



激安商品大放出に長蛇の列

謝を目的に、商工会の手作りのイベントで実施しようとして、同工会の各部会ごとに計画された。商業部会の激安商品大放出では、ティッシュ五箱、卵二パック、砂糖二袋が各先着三百名にオール百円で販売、午前十一時のオープン前から長蛇の列がつけられていた。

舞台では、海賊バンド演奏やイリュージョンマジック、キャラクターショーが繰り上げられ、多くの観客を楽しませた。

また、同青年部（河原勲部長）がチビツ子ゲームやくじを担当

津名郡六商工会で構成する「津名郡商工会事業センター」の設立総会が、三月十八日、津一宮町のふるさとセンターで開催され、事務所を津名町商工会館に開設することなどを決定した。

同郡六商工会では、昨年七月、同センター設立準備室を開設、広域指導体制について協議を重ね、この日の設立総会となったもの。

総会では、会長に荒木伸一・一宮町商工会長、副会長に粟田

事業センター
を設立
〈津名郡商工会〉

同女性部（中上和美部長）ではレストラン部門で、カレー・おでん・うどんを各百円で販売した。その他、滞在中の中国人研修生の特別参加による本場水餃子も人気を呼んでいた。

最後のお楽しみ抽選会では、一枚百円で抽選券を購入してもらい、電動自転車・自動食器洗い乾燥機・高額お食事券などの豪華賞品が用意され、空くじなしとあって、券を片手に最後まで盛り上がり、終日の賑わいを見せていた。



津名町商工会館に事務所を開設することを決定

初午大祭に
六万人
〈出石町〉

智之・北淡町商工会長を選任し、運営費は各商工会が負担することとも決定した。

平成十五年度の事業計画案も提出され、情報化（ＩＴ）の実施、専門的経営指導の実施、広報事業の実施の三項目を重点事業として、新しい時代の地域づくりと商工業の経営支援強化を目指し、事業展開をしていくこととなった。

三月十四、十六日、出石町で三丹一の大祭「出石初午大祭」が開催され、延べ六万人の参拝者を迎えた。

この大祭は、出石城跡にある



町内を練り歩き、祭り気分を高めるチンドン屋

稲荷神社の例祭で、冬の但馬に春を告げる大祭ともいわれる。

宵宮には、城跡の高台までの参道に提灯が下げられ、三十七の朱鳥居を照らし、おひたきが始まった。

出石町商工会（大橋直人会長）もその運営を担い、参道には、同商工会女性部（坪井美智子部長）の「無料ぜんざいサービス」や地元小・中学生の和太鼓演奏で祭り気分を盛り上げた。

本祭・後縁には二百を超える露天が辺りを埋め尽くし、お化け屋敷を始めとする数多くのイベントや「福くじ」、地元特産品の展示販売で賑わっていた。

同商工会では、来年の初午大祭もさらにパワーアップしたいとしている。

「こいのぼりの法被」 が大人気 〈東条町〉

こいのぼりで東条町ならではの法被を作ろうと、東条町商工会（藤本和宏会長）は、色鮮やかなこいのぼり仕立てのオリジナル法被を作製、話題を呼んでいる。

黒、赤、青のこいのぼりが素材で、一匹から法被二着を作ることができ、十五匹から三十着が仕立てられた。法被の前面はウロコ、背中部分は目玉を配置して、見る人に強烈な印象を与えている。

この法被のデビューは、昨年十一月の東条湖物産フェアに、関係者がこいのぼりの法被を着



大きな目玉が印象的

た時。人々から注目を浴び、また、二月の同商工会青年部・女性部記念式典でのコンサートでも、来場者の目を引いたところだ。

この法被を見た地域の人々からは、「同じ法被を作って」「貸出しは出来るの」などの声も上がり、商工会はその対応に追われている。

健康講座
生涯現役で暮らすために
〈山南町女性部〉

山南町商工会女性部（森田貴美代部長）は、三月五日、同町民センターで、女性の健康講座を開催した。

当日の講師は、特別養老老人松寿園の管理栄養士 梅垣桂津枝氏で、「生涯現役で暮らすには」をテーマに講演した。

同講師は、「私たちは、一年に一つ年をとる年齢を使っていくが、同じ年の人でも若々しい人もいれば随分と老け込んでいる人もいます。それは、私たちが歴年齢のほかに身体年齢と呼



講師は管理栄養士の梅垣桂津枝さん

ぶものを持つていくからだ」とし、「自分の身体年齢を今以上に知り、今以上に若返り、生涯現役で暮らすことを共に考えよう」と熱弁した

情報紙『芦屋流』は大好評
〈芦屋市〉

芦屋市商工会（小田脩造会長）は、このほど、市民版の情報紙を発刊、32,500世帯に配布し、好評を博している。

情報紙名は『芦屋流（アシヤ・リュウ）』で、「芦屋・流で行く！」を表現、「この街で皆さまと商い人を結ぶ」をコンセプトに、タブロイド版4ページで編集されている。

創刊号では「芦屋さくらまつり」を間近に控え、芦屋お花見マップを掲載、小粋なお弁当や食事、和・洋菓子を味わえる店を紹介している。また、多くの会員が芦屋への思いや商売へのこだわりを紹介しているほか、会員へのインタビューで、商い人の秘密を鋭く探っているのが印象的だ。

この情報紙は、年2回の発行予定で、市民の声を取り入れながら発行していきたいとしている。

クリーン作戦
— 三田市武庫川 —
〈三田市青年部〉

三田市商工会青年部（堂本一康部長）は、三月二十七日、高年齢の武庫川クリーン作戦を実施した。

早朝七時から約二時間、武庫川の河川敷を中心に橋上や堤防等の清掃、全体的にはゴミの量は多くなかったが、空き缶や煙草の吸い殻の「ポイ捨て」が多く見られた。それでもキレイになった河川敷をみて、部員一同気持ちよく清々しい朝を迎えることになった。

退職金づくりは(中退共)で

退職金制度を設けたい場合は、国の「中退共制度」をご利用になれば、安全・確実・有利な制度が手軽に作れます。

この制度に新しく加入した企業には、掛金月額1/2（上限5,000円）を加入後4か月目から1年間、国が助成します。また、途中で掛金を増額した場合（増額前の掛金が18,000円以下）は、増額分の1/3を1年間、国が助成します。

制度についてのお問い合わせは、退職金相談コーナーへ

大阪市西区阿波座1-7-13（商工中金阿波座ビル7階） TEL (06) 6536-1851
http://www.mmjp.or.jp/chutaijyo FAX (06) 6536-1850

篠山の匠・技を活かした暮らしを提案 「ささやまの家」のブランド化へ

篠山市商工会協議会



篠山市初田に完成した「ささやまの家」。篠山の景観や住民のライフスタイルになじむ住まいをめざしている。

篠山市商工会協議会（山内文男会長）の「ささやま百年家」ブランド化推進事業が成果を見せている。

篠山の自然、伝統、ライフスタイルに合った住まいのモデル「ささやま百年家」をブランド化しようという検討を重ねてきた委員二十三人が四タイプの基本プランをまとめ、去る三月二十九日、消費者を対象に説明会を開催した。

発表の前に、朝日放送テレビの人気番組「感激！ピフォーアフター」で節約リフォーム説法師として人気の一級建築士、才

本謙二さんが講演。関係者も含めて約百人が集まった。

基調は和風木造建築で、傾斜のある瓦屋根とし、丹波材を使用。内装は伝統的な「田の字」を現代風にアレンジし省エネと環境浄化作用にも配慮した地元の土を使った「たんば聚楽」を施す。説明した委員は、四タイプの住宅について「いずれも年を重ねるごとに味わいが深まる家」とし、「木造住宅の耐用年数は二十五年だが、百年家は各所で職人の伝統技能を活かし、名前のとおり最低でも百年は住める住居を提供したい」と発表し



丹波材の「骨太構造」



健康土壁「たんば聚楽」



丹波焼の洗面ボール

た。地元の建築組合長が、商工会の副会長で、業界とタイアップできたことも成果が表れた大きな要因。

平成十三年度の篠山市商工会の独自事業から、本年度は国の提案公募型事業、小規模事業経営支援事業に採択されたが、消費者向け事業啓蒙パンフレットを作成する際、近畿経済産業局から「販売促進グッズを補助金で作成してもらっては…」とクレームがついたこともあった。

中小企業基本法の改正による「やる気のある企業への支援」に適合していると説明し、国にも認めてもらったことで、業界のメンバーも自信と自覚を深めている。

今後、篠山市商工会協議会は本事業を普及、推進していく組織「ささやま百年家事業部会」の自立を目的に支援していく。



- ささやま百年家
- A プロトタイプ（切妻）
 - B プロトタイプ（入母屋）
 - C 都会派自然住宅
 - D フリースタイル住宅



最高の信頼を
めざして。

三井住友銀行

SUMITOMO MITSUI BANKING CORPORATION

県下中小企業者と共に45年

県 共 済

兵庫県火災共済協同組合
兵庫県共済協同組合

神戸市中央区中山手通7丁目28番33号(県立産業会館内)
〒650-0004 ☎078-361-8080 FAX 078-371-6757